



『海の祭礼』

吉村 昭

吉村昭は、三菱重工長崎造船所等での綿密な取材に基づいて書かれた「戦艦武蔵」（菊池寛賞）をはじめ、「ふおん・しいほるとの娘」（吉川英治文学賞）、「海の祭礼」「暁の旅人」「ニコライ遭難」など、長崎ゆかりの作品を多く執筆している。特に、歴史小説の執筆にあたっては、当館の史料を閲覧するなど、吉村昭と長崎、当館の関係は深い。行きつけの料理屋や万年筆店などおなじみの店や長崎の風物にまつわるエッセーも多く、来崎百回を記念して、当時の高田勇知事から「長崎奉行」に任命された。

『海の祭礼』は、江戸時代、長崎で十四人の通詞に英語を教えた日本初の英語教師であるラナルド・マクドナルドを描いた小説である。

松森神社参道にある「マクドナルド顕彰之碑」の制作は山崎和國氏、碑文は吉村による。